

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 7 区分
【発行日】平成 23 年 4 月 14 日 (2011.4.14)

【公開番号】特開 2009-203067 (P2009-203067A)
【公開日】平成 21 年 9 月 10 日 (2009.9.10)
【年通号数】公開・登録公報 2009-036
【出願番号】特願 2008-50127 (P2008-50127)
【国際特許分類】

B 6 5 H 7/06 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 7/06

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 2 月 25 日 (2011.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のシート収納部のいずれかからシートを搬送するシート搬送装置であって、
前記シートのカールを検知するカール検知手段と、
前記カール検知手段によって前記カールが検知されたシートを収納していたシート収納部を、前記複数のシート収納部から特定する特定手段と、
前記特定手段によって特定されたシート収納部をユーザに通知する通知手段とを備えることを特徴とするシート搬送装置。

【請求項 2】

前記シート収納部から搬送されたシートをシート積載部に積載する積載手段をさらに備え、
前記特定手段は、前記カール検知手段によって前記カールが検知された場合に、当該カールが検知されたシートを収納していたシート収納部、及び前記シート積載部に存在するシートを収納していたシート収納部を特定し、
前記通知手段は、前記特定手段によって特定されたシート収納部を通知することを特徴とする請求項 1 に記載のシート搬送装置。

【請求項 3】

前記シート積載部に存在するシートの積載量が所定の量に達したか否かを判定する判定手段をさらに備え、
前記通知手段は、前記判定手段によって前記シート積載部に存在するシートの積載量が所定の量に達したと判定され、且つ、前記カール検知手段によって前記カールが検知された場合に、前記特定手段によって特定されたシート積載部をユーザに通知することを特徴とする請求項 2 に記載のシート搬送装置。

【請求項 4】

前記シートのカールを補正するためのカール補正量を入力する入力手段と、
前記入力手段によって入力されたカール補正量に従って、前記シートのカールを補正するカール補正手段とをさらに備えることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載のシート搬送装置。

【請求項 5】

前記入力手段は、前記複数のシート収納部に含まれるシート収納部ごとにカール補正量

を入力可能であり、

前記カール補正手段は、前記シート収納部ごとに入力されたカール補正量に従って、前記シートのカールを補正することを特徴する請求項 4 に記載のシート搬送装置。

【請求項 6】

前記通知手段は、表示手段に通知画面を表示することで前記特定手段によって特定されたシート収納部をユーザに通知し、

前記入力手段は、前記表示手段に表示された通知画面を介して前記カール補正量を入力可能とすることを特徴とする請求項 4 または請求項 5 に記載のシート搬送装置。

【請求項 7】

前記複数のシート収納部のいずれかから搬送されたシートに画像を形成する画像形成手段をさらに備え、

前記カール検知手段は、前記画像形成手段による画像の形成によって発生したカールを検知することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれかに記載のシート搬送装置。

【請求項 8】

複数のシート収納部のいずれかからシートを搬送するシート搬送装置の制御方法であって、

前記シートのカールを検知するカール検知工程と、

前記カール検知工程で前記カールが検知されたシートを収納していたシート収納部を、前記複数のシート収納部から特定する特定工程と、

前記特定工程で特定されたシート収納部をユーザに通知する通知工程とを備えることを特徴とするシート搬送装置の制御方法。

【請求項 9】

複数のシート収納部のいずれかからシートを搬送するシート搬送装置の制御方法をコンピュータに実行させるプログラムであって、

前記シートのカールを検知するカール検知工程と、

前記カール検知工程で前記カールが検知されたシートを収納していたシート収納部を、前記複数のシート収納部から特定する特定工程と、

前記特定工程で特定されたシート収納部をユーザに通知する通知工程とを備えることを特徴とするプログラム。

【請求項 10】

ジョブを実行することによって複数のシート収納部のいずれかからシートを搬送するシート搬送装置であって、

前記シートのカールを検知するカール検知手段と、

前記カール検知手段によって前記カールが検知されたことに従って、前記複数のシート収納部のうち、実行中のジョブで使用されたシート収納部をユーザに通知する通知手段とを備えることを特徴とするシート搬送装置。

【請求項 11】

シート収納部から給紙されたシートを搬送し、当該シートをシート積載部に積載するシート搬送装置であって、

前記シート積載部に存在するシートの量が所定の量に達したかを判定する判定手段と、

前記シート積載部に排紙されたシートのカール量が所定の量を超えているかを判断する判断手段と、

前記判定手段によって前記シート積載部に存在するシートの量が所定の量に達したと判定され、且つ、前記判断手段によって前記カール量が所定の量を超えていると判断された場合に、シートにカールが発生したことによって前記シート積載部に積載されたシートの量が所定の量に達したと判定されたことをユーザに通知する通知手段とを備えることを特徴とするシート搬送装置。

【請求項 12】

前記通知手段は、前記判定手段によって前記シート積載部に存在するシートの高さが所定の高さに達したと判定され、前記判断手段によって前記カール量が所定の量を超えてい

ると判断されなかった場合に、シートにカールが発生したことによって前記シート積載部に積載されたシートの量が所定の量に達したと判断されたことをユーザに通知することなく、前記シート積載部に積載されたシートを当該シート積載部から取り除くよう促す通知を行うことを特徴とする請求項 10 に記載のシート処理装置。

【請求項 13】

シート収納部から給紙されたシートを搬送し、当該シートをシート積載部に積載させるシート搬送装置であって、

前記シート積載部に存在するシートの量が所定の量に達したかを判定する判定手段と、
前記シート積載部に排紙されたシートのカール量が所定の量を超えているかを判断する判断手段と、

前記判定手段によって前記シート積載部に存在するシートの量が所定の量に達したと判定され、且つ、前記判断手段によって前記カール量が所定の量を超えていると判断された場合と、前記判定手段によって前記シート積載部に存在するシートの量が所定の量に達したと判定され、且つ、前記判断手段によって前記カール量が所定の量を超えていると判断された場合とで、ユーザに異なる通知を行う通知手段とを備えることを特徴とするシート搬送装置。

【請求項 14】

前記通知手段は、前記判定手段によって前記シート積載部に存在するシートの量が所定の量に達したと判定され、且つ、前記判断手段によって前記カール量が所定の量を超えていると判断された場合に、シートにカールが発生していることをユーザに通知し、

前記判定手段によって前記シート積載部に存在するシートの量が所定の量に達したと判定され、且つ、前記判断手段によって前記カール量が所定の量を超えていると判断された場合とに、シートにカールが発生していることをユーザに通知することなく、前記シート積載部に存在するシートの量が所定の量に達したと判定されたことをユーザに通知することを特徴とする請求項 13 に記載のシート搬送装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記問題点を鑑みてなされたものであり、複数のシート収納部のうち、いずれのシート収納部から搬送されたシートにカールが発生しているのかをユーザが容易に知ることができる仕組みを提供することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

複数のシート収納部のいずれかからシートを搬送するシート搬送装置であって、シートのカールを検知するカール検知手段と、カール検知手段によってシートのカールが検知されたシートを収納していたシート収納部を、前記複数のシート収納部から特定する特定手段と、特定手段によって特定されたシート収納部をユーザに通知する通知手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明によれば、複数のシート収納部のうち、いずれのシート収納部から搬送されたシートにカールが発生しているのかをユーザは容易に知ることができる。